広報いずみ

発行所
福井県大野郡
和泉村

和泉村議会　定例会開かる
議案九件を可決

第四十六回和泉村議会定例会はこのほど開かれ、昭和四十二年度和泉村一般会計補正予算案など九議案を可決成立された。

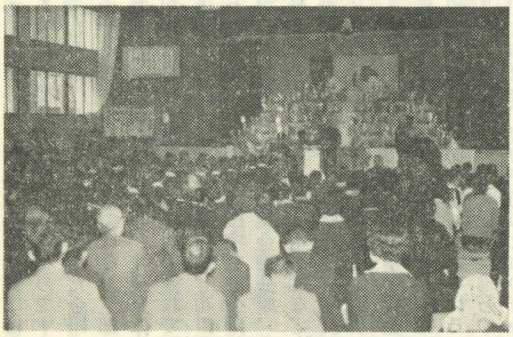
提出議案は次のとおりである。

◇

一、専決処分事項の報告について（議案第三十四号）
二、専決処分事項の報告について（議案第三十五号）
三、和泉村使用料及び手数料条例の一部改正について（議案第三十二号）
四、人権擁護委員候補者の推せんについて（議案第三十九号）
五、公衆便所の無償譲渡について（議案第三十三号）
六、昭和四十二年度和泉村一般会計補正予算案（議案第三十六号）
七、昭和四十二年度和泉村診療所事業特別会計補正予算案（議案第三十七号）
八、昭和四十二年度和泉村簡易水道事業特別会計補正予算案（議案第三十八号）
九、高志地区広域行政推進協議会の設置について（議案第四十号）

英霊やすかれ
戦没者慰霊祭執行

昭和四十二年度和泉村戦没者慰霊祭は、十月七日午前十時より朝日中学校で導師、最勝寺住職をはじめ長勝寺、威徳寺、浄楽寺の各住職により厳修された。知事代理（高志福祉事務所長）大野郡市温交会長等、多数来賓が参列され遺族五十九名の方々も思いを新たに泉下の霊に感謝の誠を捧げた。


慰霊祭の模様

和泉村再建方策審議会答申 ⑥

（承前）

1　人造湖の魚場研究は最も進歩がおくれているので、今回も適格な判定は下し難い。

2　日本で三〇米以上のダムが七〇〇余あるが成功しているところなし。

3　問題は増殖の仕方と魚獲方法にある。

4　成功さすには、採算のとれない仕事になるかも知れない。
更に話は進み「現況から能率よく魚を増すことについて、見たまゝの意見」として、

1　今は貯水前の調査である。予備意見として聞いてほしい。

2　栃木県で二ケ所指導してきたが、実行されてはいるが効果は挙がっていない。

3　貯水前の調査目的は、
イ　貯水前に処理しなければならないのは何か、を考えておく。
ロ　わし調整地については魚を増すことよりも、採る手段を講じておくべきである。

〔例〕
①　水の増減甚だしき故、これに応じて利用出来る階段類を設けるとか
②　浮棧橋を作るとか
③　電発と協力して、ボートの管理を全面的に魚協等で引受けて利用する道を講じておく

4
イ　貯水後に調査すべきこと
　湖水の水質調査
ロ　湖流の状況を、気温、風向きの変化に伴なって調査（プランクトンの動きを見る）
ハ　プランクトンの発生状況、回遊の状況調査。
ニ　魚の分布については
①　放流後一年目にどうなっているか
②　同じく二年目に……
③　予想では五年目以後は大きな危機におちいると思う。
④　魚探で十分魚の類を調べること

5　土砂、木の葉の積る場所を調べる（一般に流れ込みとダムの中間に多いはず）

6　大体現在の大谷あたりが魚の集まる場所になると見込まれる。

7　魚種について
（イ）　ワカサギ、ゲンゴロフナ、コイ
（ロ）　アマゴ、ニジマスは川より流れ込みの場所がよく一〇cmから二〇cmで取るようにするでないと下つてしまう。

以下次号

○　不必要な水道の放水はやめましょう。

（昭和42年10月1日現在）

村の人口

出生	9人
死亡	3人
転入	45人
転出	79人
総人口	3,751人
男	1,993人
女	1,758人
世帯数	1,140世帯

村の面積
332.26平方km

今月の目標

読書の秋です
一、本を読む習慣をつけましょう
一、良い本を読んで人格を高めましょう
一、毎日の新聞をよく読みましょう

和泉村消防団長更迭

水谷　亶氏

谷口武雄氏

村内外の消防関係者ならびに村民各位からその業績と手腕を高く評価されて和泉村消防団の名を県内外に馳せ「和泉村での大火は絶対許すまじ」と万全の備えを誇る本村消防団において去る九月一日、有能なる指導者谷口武雄団長が、一身上の都合により全村民から惜まれつゝ勇退された。消防団生活実に二十二年有、この間における氏の活躍と献身的な熱意は、輝々として村民の信頼と感謝の的であった氏は去るに当り「二十二年の長期にわたり皆きまの御支援とご協力を感謝する」と語り又同日付をもって後任に水谷亶氏が団長に、辻善久氏が副団長に就任され、「非才ながら前団長の業績を継ぎ献身の努力を惜しまない、前同様のご支援を乞う」と抱負の程を語り、精鋭を誇る本村消防団の今後の活躍が期待されている。

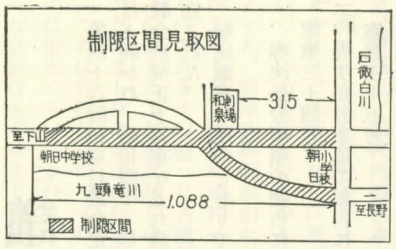
【派出所だより】速度制実限施のお知らせ

朝日部落内の中心を走っている国道および県道について、かねてより車輌の速度制限を申請しておりましたが、このほど間が、時速四十キロメートルに制限されました。

制限区間は、従来より道路巾がせまく、工事関係自動車や、最近では観光客の訪づれなどで交通量が増加し事故の発生する危険が多分にあります。

また、駐車車輌も多く、車の直前、直後から突然幼児などが飛び出すおそれもあります自動車などを運転される皆さん

制限速度安全運転を守り交通事故防止につとめて下さい。



明るい村・住みよい町づくりに役立つ

郵便局の簡易保険

郵便局の簡易保険や年金に加入された方々が、毎月郵便局にお払込みになる保険料や掛金は、一年間に三千一百億円をこえる大きな金額になっております。

このお金は、やがて皆様のお手許に保険金、年金、配当金としてお返しするものでありますが、それまでは積立金として積立ておくものなのです。

しかし、この積立金は、ただ金庫の中でねむっているわけではなく、加入者の方々の利益にもなり、社会全体の利益にもなるよう有効に活用されております。たとえば、都道府県、市町村などや日本国有鉄道、住宅金融公庫、国民金融公庫、中小企業金融公庫、農林漁業金融公庫、日本住宅公団などに融資されて、学校、公営住宅、病院などをつくるための資金、道路、橋りょう、水道電気、ガスなどの事業資金、電車、バス、地下鉄などの交通事業、堤防、防波堤その他農村漁村のいろいろな設備資金、災害を受けた地方の復旧工事資金、災害予防のための資金、中小企業の融資資金などとなって、皆様の生活と直接結びついております。

また、このほか、加入者の皆様方が不時の出資で多額のお金が必要な時に直接現金を融資する普通貸付や、契約者十五人以上が一団となって、その団体の被保険者の共同の利益を図る施設を設置したり、購入したりするための資金を融通する団体貸付などがあり、加入者の皆様のお役に立っております。

年度末資金総額

年度別	年度末総額
大正5年度	296千円
10	24,906
15	203,611
昭和 6	702,065
11	1,413,556
16	3,303,986
21	8,681,116
26	71,444,618
31	340,011,061
36	882,963,765
37	995,679,895
38	1兆092,389,935
39	1兆134,075,659
40	1兆233,020,822
41	1兆396,471,429

○自転車、オートバイの登録をしましょう。

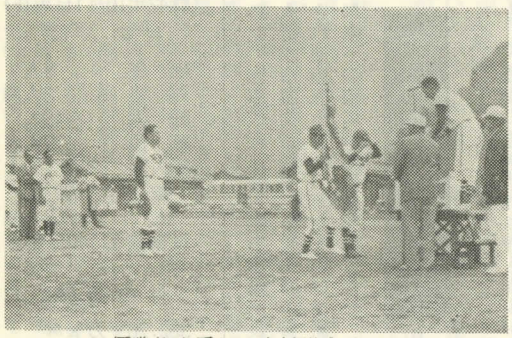
議会議員職員 優勝成る

高志地方町村職員議会議員親善ソフトボール大会バレーボール大会

第五回高志地方町村議会議員親善ソフトボール大会は、十月三日和泉村において行なわれ、和泉村長の始球式により足羽町チーム対上志比村の第一回戦を始め、七チーム勝抜戦による熱戦が展開された。本村議会チームは美山町チーム、永平寺町チームを連破し三度目の優勝をかざった。

第三回高志地方町村職員親善大育祭は、十月十四日足羽町第一中学校グラウンドで行なわれる予定であったが、あいにくの雨のため、同校体育館でのバレーボール大会に変更され、七チーム勝抜戦が行なわれた。

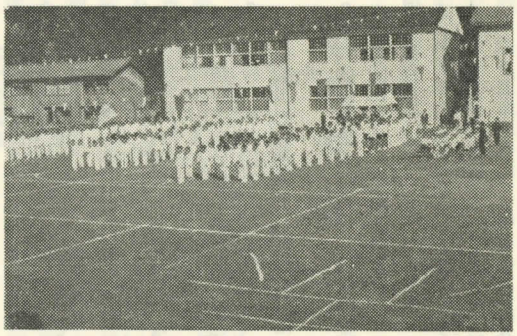
本村チームは上志比村、美山町を破り永平寺町チームとの決勝戦に進出し、日頃の鍛練と職員間における見事なチームワークを発揮して、手に汗にぎる大熱戦の末、二対〇と永平寺町チームを破り初優勝をなしとげた。


優勝旗を手に、当村議会チーム

スポーツの秋

国体ムードを盛り上げる体育の祭典

訪づれの早い紅葉、無災害の豊年を澄み切った秋空にたたえて、山あいにこだまする歓声は、幼小中の合同運動会を秋分の二十四日に、第十一回村民大会を体育の日の翌十一日に盛大に展開された。白黄緑橙の四チーム対抗熱戦の結果、昨年と連続して黄チームが優勝した。国体は既に躍動している。


合同運動会開会式

福井県婦人体育大会に参加して

和泉村婦人会

去る十二日県下各地より集まった婦人会員二千名余りの大行進の渦の中で主婦にもこれだけ堂々たる体育大会がやれば出来るのかと感激すると共に、これまでの影の力を思う時、目頭をおさえずにはおられなかった。

スポーツを通じて肌で感じる人間関係は味わったものでなければ分らないと思うが、先日羽田での学生デモの犠牲者山崎君のことも他人ごとではないし、いつの間にか親の手の届かない所に成長してしまい、何を考え何をしているか分らない現状ではないでしょうか。

山崎さん親子にも何かの一点で理解し合えるものがあったら、あのような結果にならなかったのではないかしら

話し合いにくい年頃の子供の心理を知るためにも婦人が進んでスポーツを愛好し、明るく朗らかに子供達と接し話せる母となって、国体の合言葉の如く明るく、清く、たくましい青年に育てゝほしいと願うのみです。

そして来年こそ県連婦人体育大会に和泉村からもプラカードを先頭に出場出来るよう会員一人一人胸にたゝんでおいてほしい。終りに一年後の国体が県民全員の協力のもとに有意義に成功することを祈って止みません。

学校放送

「古きをたずねて新しきを知る」

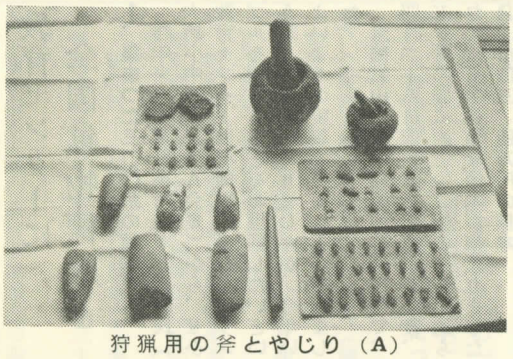
朝日中学校社会科研究部

現在、私たちは美しい衣服身にまとい、機械化された道具を用い、不可能と思われるようなことでも、どんどん可能の世界にひきずりこんでいます

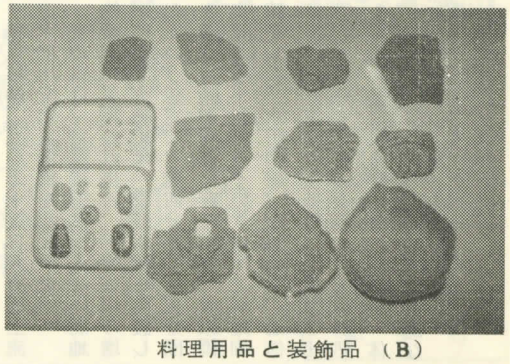
しかし、これも、私たちの祖先のたゆまない生活の営みがなかったら、そう簡単には生みだされなかったにちがいありません。

獣を追い、草を摘み、木の実をもぎとっていた頃、いったいどのような「生活」があったのでしょうか。

A・Bの写真を見ながら、祖先の生活に思いを馳せてみょうではありませんか。



狩猟用の斧とやじり（A）



料理用品と装飾品（B）

今を去ること四千年～五千年前、といっても、皆目見当のつかない、気の遠くなるような昔のこと日本にもようやく新しい時代がひらかれてきます。今までの石を割ったり、磨いたりして作った道具の他に、人間の手を通じて自然にある〝土〟を変化させることを発明したのです。これが土器なのです

この最初の土器の時代をその土器の特徴――縄目またはそれに似た文様のあるところから縄文時代と呼んいでます。

なんだか話に聞いていると遠い外国の話みたいですね。

ところがこの村からも、隣りの石徹白村からも続々と縄文時代の生活のあとが見つけ出されているのです。

写真A・Bはそれぞれ石徹白村から出土したものです。

写真Aの先のとがった小さな石は石鏃（せき）―石でつくったやじりです。これをまっすぐな木の枝にくくりつけ、よく曲がる弓につがえて、けものを射たりしたのです。

その上にある小さなすりばち状のものは、毒のある木の実や草の根を入れてすりつぶしたものでしょう。それを石鏃の先にたっぷりつけ、えものをねらったのです。人間の知恵がいつもこのような新しい生産方法を見つけ出さずにはおかなかったのでしょう

写真Aの左下にあるのは石斧で、草を刈ったり、えものをぶち切ったりしたものです。

さらに写真Bの土器のかけらは、たくわえのつぼであったり、水がめであったものの一部です。よく見ると、それぞれ縄目やそれに似た文様が容易に見つけられます。

炉にかけてたべものを料理したり、狩りや漁のできない時にそなえてたくわえたりしたものです。

写真Bの左の方に小さなピカピカしているものがあります。これがまが王といわれる当時の装飾品なのです。私たちの祖先も私たちと同じように、おやしゃれの感覚の持ち主だったのでしょうか。美しい光沢の玉になにかしら心をひきつけられてしまいます。

地面を掘り下げ、その中に柱をたて四方から草木の屋根をふいた小さな小屋―竪穴式住居で炉を囲んで、血のつながりのあるもの同士が、きまぐれできびしい自然と闘いながら、人間の生命を、人類の発展の火を然やし続けてきたのです。

このように私たちの村は四、五千年も前から人が住んでいたことがわかります。山や畑を耕やして不思議なものが出てきたり、大掃除の時に捨てる古いものの中に、実は大事な勉強の資料があるのです。今後そういうものが見つかった時は、一応役場の社会教育課か、中学校の社会科研究部へお知らせください。

役場の窓

引揚者に対する特別交付金の支給について

―住民課―

昭和四十二年八月一日法律第百十四号にて引揚者及び引揚前死亡者の遺族に対する特別交付金が支給される事になりました。特別交付金請求事務を十月一日から役場住民課で取扱いを開始しますから該当者は申出下さい。

年齢	特別交付金の額（死亡者の遺族に対する）
五十才以上	一六〇、〇〇〇円
三十五才以上五十才未満	一〇〇、〇〇〇円
二十五才以上三十五才未満	五〇、〇〇〇円
二十才以上二十五才未満	三〇、〇〇〇円
二十才未満	二〇、〇〇〇円

年齢	特別交付金の額（死亡者の遺族に対する）
五十才以上	一一二、〇〇〇円
三十五才以上五十才未満	七〇、〇〇〇円
二十五才以上三十五才未満	三五、〇〇〇円
二十才以上二十五才未満	二一、〇〇〇円
三十才未満	一四、〇〇〇円

明るく正しい選挙 ④

代表者の選出

選挙管理委員会

私たちの日常生活で、代表者をみんなで選ばねばならない機会は、たくさんあります。身近かなところでは、PTAの役員や区長の選出、又公職の村長、村議会議員もあります。これらの代表者を、私たちは、どのような方法で選べばよいのだろうか。

代表を選ぶ場合に選挙という方法をとります。選挙という方法は、それぞれの人が代表者としてだれが適任であるかの意思をあきらかにし、多数の人によって選出された方が、もっとも適任な代表であるとするものです。

別に適当な人は別にいるかも知れませんが、その反面非常に不適当な人が選ばれることは、この方法によって防げるという利点をもっている。こうした点から大切なことは、自分で考え、自分の責任においてだれが最適任であるかをきめることです。義理や人情というような私的な理由によって、自己の意思をまげたり、他人のいうことに付和雷同したりすることは、民主主義の原則を根底からまげてしまうことといわねばなりません。

納税者の声を聞く旬間

11月1日から10日まで

大野税務署

「納税者の声を聞く旬間」が、十一月一日から十日までの十日間全国的に実施される。この旬間の目的は、税務行政に対する納税者の意見や要望を広く積極的に聞き、万能な範囲で税務行政の改善にとり入れるとともに、この機会を通じて納税者と税務官庁との意の疎通をはかり、「近ずきやすい税務署」の実現を指し進めることにある

また本年度は、申告納税制度二十周年にあたっており、税務署ではこの目的達成のため、諸種の行事を計画し、納税者の卒直な意見と要望を期待しています。

主な行事は

1　税務署幹部の納税者宅訪問

2　納税者の声を聞く座談会

3　婦人団体の税務署見学、アンケートの募集などである。裏面つゞく

○インフルエンザの、予防接種をうけましょう。

教育センターに全国鉱物標本①

1、集まった三〇〇余の標本

昨年来、中竜鉱業所佐々木義教氏（大納小中学校PTA会長）から、ぜひ教育センターに全国鉱山の鉱石のサンプルを集めることをお世話したいという耳よりな話がありましたが、今年いよいよその実現を見ることができました。

全国鉱山一〇三箇所の紹介を得て、四月二十八日依頼状を発送、その後、五ケ月の間に約三〇〇個の鉱石が送られて来て、見事な標本が集まりました

2、市価三、四万円の標本

集まった岩石鉱物を見ると、中にはそのまま、床飾りなどに利用してもよいくらいの素晴しいものも少なくありません。隣県の神岡鉱山などは、一尺四方ぐらいの木箱の中に一〇糎平方ぐらいの大きさの揃った各種鉱石標本が三〇個も入った貴重なものを送っていただきましたその道の行者に見せると「これは立派なものですね、市販のものは指先ぐらいのかけらで、とてもこんな立派なものはありません。もしこれを買うとすると三、四万円ぐらいかかるでしょう。」という話で、大変なものをいただいたことになります。他の鉱山からも今まで見たことのない岩石や鉱石が沢山届いています。北海道の菱マンガン鉱、赤い色をしていてとてもきれいな鉱石です。昔から貴重がられている金銀鉱！これも五種類ぐらいありますが、白色のみるからに高貴な気品ぶりを示した鉱石です。黄銅鉱や黄鉄鉱などいろいろな種類のものがあり、中に素晴しい結晶のものがあって、これまでの私達のもっていた鉱石に対する概念をすっかり新らしくしてくれるような気さえします。これらの岩石や鉱石を買うとすると、おそらく数十万円にもなるでしょう。

（つづく）

鉱石標本の一部

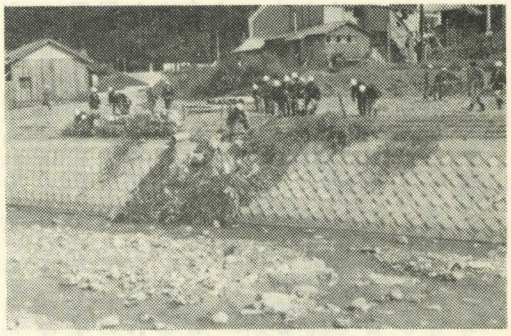
水防警報発令？

大納川で防災訓練行なう

＝総務課＝

和泉村は、九月二十五日大原橋上流の大納川で防災訓練を行なった。

この日は、台風接近にともない局地的豪雨に見舞われ黒谷、三坂谷川の増水により大納川は、警戒水位を突破したという想定で、第四分団、第五分団と中竜自衛消防隊に非常招集、大原橋上流から平和橋近くの大納川で現地訓練をした。水防訓練、避難訓練、通信訓練の三つの班に分かれ、県防災課長等の指導のもとに、今後の災害に対処し、人命と財産を守るため村民が一体となって、防災意識の昂揚と総合的な防災態勢の確立につとめた。



大納川での水防訓練

『反射鏡』

水道の水不足について

皆さんも新聞、テレビ等により既に御承知の如く、本年は全国的に雨量が少なく、特に九州地方は未だかつてないという大旱魃で、毎日四億円の損害が生じているといわれています。

本村においても、雨量が少ないのと計画よりも多く給水しているため、水道の水不足を来しておりますが、お互がもつと注意と関心をもつて、次のことを確実に実行していただけば、飲料水の確保と火災の場合における初期の消火に実をあげる事ができるわけです

一、使用後は必らず栓をしめ、出しつぱなしは絶対にしないこ。

二、池へ絶対放水しないこと。

なお、消火栓用のホースの配置については、消防団関係者と協議し善処ししたいと思いますが、部落によつては既に購入配備したところもありますので御希望の部落に対しては出来るだけ割安に入手できるよう努めますからお申し出て下さい。

私の希望

村民に親切な応対を

役場と村民のつながりが、今日ほど密接に感じられることはない。昔は徒歩で用事をすませたり、手紙で用たしをしていたが、現在は電話の利用で大変能率的に事が運ばれている。この便利な電話の利用について、常に思うことは、直接顔が見えないから、つい言葉づかいがそそうになつたり、不親切な応対になり勝ちである。役場においても各方面からの電話応対に大変忙殺されていると思いますが、私たち村民にとつては重要かつ緊急の場合の電話であり、適確な指導や応答を希望している。然るに時としてハッとするような言葉を聞いたり、不親切な取扱いを受けることがある。ほかの社会でも同じことがいえるが、特に役場に対する村民の信頼を充分考えて、つとめて親切ていねいな電話の応答をお願いする

「こだま」

いま医学会で問題になっているのが「ガン対策」である。ガンは症状がまったくわからず、少々痛みを感ずるころにはもう手おくれという、きわめて恐ろしい病気である。現在の医学では手の施しようがないやっかいなガンであるが、ただ一つ早期発見という救い道がある。

日頃からガンにかからぬうちに健康診断をしておく準備が必要なわけだ▲去る四十年の三大風水害で受けた本村の災害個所も、ここ二年続きの好天候でそのほとんどが復旧されて誠に結構なことで喜ばしい。しかし復旧工事そのものが現状復帰に限られているという点で何か不安を感ずる▲われわれ素人の考え方だけでは、まちがった評価をしているかもしれないが、この目で実際にその恐怖を体験したわれわれにしなみれば、いかにその防災護岸が貧弱てものであるか指摘したい。貧弱とはブロック積を指すのではない。むしろ裏のセメントの入れ具合など申し分ないと見た。けれどもそのブロック積の上の部分、つまり土積りのところまでブロック積ができないかということである▲試みに工事施行者にも聞いてみたがやはり同感だった。個々の村民にもあたってみたが、その全部が頭をタテにふった。予算の関係もあるだろうがせめて一番危険な個所だけでも徐々に整備していただきたいと思う▲災害はある程度防げるものである。ガンと同じように災害には予報がない。だからの今うちに（早期）によく点検（診断）し、悪い個所は整備（治療）しておくべきと考える。災害が発生して一番困るのは、われわれ村民ではないか

（あとがき）

一、冬を迎える準備はいかがでしよう

冬物衣類の整理、寒さを迎える家の内外の準備。

二、和泉村の再建に役立つ建設的ご意見の投稿を歓迎します。小さなことでも、なんでも結構です。

○ジフテリヤ、百日咳の二回目予防接種は十一月中